

レブンクル自然情報

夕日の丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

礼文島HP http://www.d1.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm



鳥.26 カシラダカ・頭高

ホオジロ科ホオジロ類 L=15cm

雄の夏羽で、頭の黒い毛が立つのが特徴。

礼文島では4, 5, 6, 9, 10, 11月に確認している。夏の繁殖は未確認。

春の楽しみは野鳥観察

去年までに礼文島で200種余りの鳥と出会いました。ほかの方の記録を含めると300種近い鳥が礼文島で確認されています。そのほとんどがこの春の渡り時期の記録です。北海道内では、珍しがられるようなヤツガシラやタゲリなどが毎年見られるのもこの時期です。

今年はまだ寒いせいでしょうか鳥の数が少なく思いますが、コマドリ、ウグイス、ノゴマ、カワラヒワなどが元気にさえずる声が毎朝聞こえています。初心者の野鳥観察にお勧めなのが、久種湖とその周辺の湿原です。久種湖は日本海に浮かぶ最北の島の湖という位置関係から、渡り鳥の大切な休息地になっていてコハクチョウやマガン、ヒシクイなどたくさんのガンカモ類が集まります。コウノトリやナベツルの記録もあります。無理な餌付けなどしなくても渡り鳥が自然と休める状態です。湖に集うカモやサギは梢の小鳥と違って、大きくて動きがゆったりとしていて初心者でもじっくりと双眼鏡で眺めることができます。車の方はエンジンを止めて徒歩の方は暖かい格好をしてじっくりと観察してみてください。ミズバショウやクロユリの群落もみごとです。

礼文島自然クラブ「やませの森から」
礼文島の里山作りに参加しませんか？

5月20日土曜日午後1時半～
「やませの森」に植樹を行います。
香深井緑が丘森林公園集合

参加希望者は5月18日までに連絡して下さい。
申し込み、問い合わせは：宮本6-1089



利尻島5月 赤岩から撮影 1998.5.



久種湖のミズバショウ群落 1999.4.28

ミズバショウのお引っ越し 杉田美野里

我が家の庭に今年初めてミズバショウが開花しました。「またミズバショウですか。美野里さん」と言われそうですが、私にとっては彼の花との同居はかなり嬉しいです。これは3年前に久種湖近くの工事で埋まる場所のものをいただいてきたものです。当時の森林官にお願いしたら、「生かせるものは、生かしてやってください」と言ってくださいました。香深ではミズバショウはめずらしく、まず観光客の目に止まり、それから地元の絵手紙サークルの人たちが気が付いて、写真に撮る人、絵に描く人。デビューしたばかりのミズバショウも、共に咲くりゅうキンカも心なしか誇らしげでした。

その花たちを見ていて思いついたのですが、まだ道路予定地にはたくさんのミズバショウが咲いています。来年の秋には埋まってしまう花たちです。それらをみんなで掘ってどこかに移植したらどうでしょうか。そこで工事の担当行政機関にお断わりをして、4月29日の連休初日に「ミズバショウの引っ越しがてらの観察会」をしました。大人16人、子供8人の参加がありました。子供たちはまるで泥んこ遊びをしているように、服も長靴もどろどろ、べちょべちょ。でもミズバショウは子供たちの手に負える物ではありませんでした。一株掘り上げるのに大人が大きなスコップを使って、30分以上かかります。根はスパゲッティのように太く、髪の毛のようにたくさんあります。ミズバショウは40年も生きる株があるそうです。地上部分は毎年枯れますが、地下の根は生き延びて、種だけでなく、地下茎でも株を増やします。樹木にも劣らない歴史を秘めていることを、根を見て実感できました。普通は観察会という行儀良く自然を見るだけなので、どこかものたりないものがあります。今回のように掘ったり植えたりできると、やはりおもしろいです。国立公園を抱える礼文島では盗掘の問題もあり、なかなか自由に自然と関わる事は許されません。でも思いっきり島の自然と四つに組んで遊べる機会を工夫して作っていききたいものです。その一つの方法として、考古学の発掘が開発予定地で行なわれるように、植物の採取も失われる予定の場所を利用して楽しむ事を許してもらえたらと思います。それから私たちの安全で快適な生活のために行なわれる工事ですが、そのために失うものを一つ一つ脳裏に焼き付けておく必要があると思います。そこには限りある自然とどう共存していくかのヒントが隠れていると思います。



礼文島・高山植物盗掘防止シンポジウム
礼文島の自然の素晴らしさを見てください。
そして、高山植物を大切にしましょう。

勉強会6月3日 午後1時~4時

場所：ピスカ21大研修室

- ・スライド上映「礼文島の花」杉田美野里
- ・「礼文島の森づくり」中継礼文森林官
- ・盗掘防止に関わる諸機関の紹介

キャンペーン6月4日 午前8時~12時

集合場所：香深駅

- ・香深駅キャンペーン
- ・アツモリソウ群生地、スコトン岬観察会

主催：レブンクル自然館

共催：礼文島自然クラブ、
国有林パトロール員連絡会

後援：宗谷森林管理署
宗谷支庁

2000年4月の自然日誌

- 1日・快晴+1 ・アオシギ?保護金田一・アトリ十数羽 - 鎌田
2日・-1 奮部ムクドリ、ホシムクドリ、林道ミヤマカケス鎌田
3日・晴れ後曇+5 ・ムクドリ6、カシラダカ30 - 道場
4日・曇+5~+6 ・ハクセキレイ道路に多数、ウミネコ多数
・久種湖湖面の氷・マガモ、カワラヒワ、ツグミ
・道場子牛9頭、ジョウビタキ雄2・上泊イルカ漂着小林
5日・曇+4~+6 晩になって雨、道場シロハラホオジロ
6日・雨のち雪後晴れ+2~+0~+4 ・利礼航路午後欠航
7日・晴れ+8 道場オシドリ、ダイサギ2、アオサギ1、
8日香深井ミソサザイ初、ルリビタキ1、キセキレイ1 - 鎌田
9日・晴れ+8 ・香深井浜コチドリ1・上泊マガモ
11日・雨+9久種湖オナガガモ、カルガモ、チュウサギ、キンクロハ
ジロ・空港ヒバリ、ムクドリ2・上泊アザラシ3
13日・曇+7 ・神崎ミヤマガラス8・上泊ウミネコ、カモメ
14日・曇後晴れ+6 ・久種湖コガモ、オシドリ8
15日・雨雪+4~+2 ・ミコアイサ - 久種湖鎌田
・久種湖ハシビロガモ、オジロワシ - 村上
16日・雪雨+2 ・久種湖ミヤマガラス30、オジロワシ1、
カシラダカ、ヒドリガモ多数、マガモ、コガモ多数、
オシドリ20、ミソサザイ声
17日・雪+3~+6 ・庭カワラヒワ・久種湖ミズバショウ
18日・曇+6~+8 ・香深井ウグイス初鳴き - 鎌田
・大沢河口コチョウゲンボウ? - 渋谷
19日・晴れ+2~+5久種湖開水カエルの合唱・晩尻クッキリ
20日・晴れ・香深ノナ漁初日・久種湖展望台ヤマシギ?
21日・曇+5~+8 ・ヤツガシラ道場・久種湖ヤマシギ?
22日・雨+5 ・久種湖散策ミズバショウ良、キセキレイ
23日・雨+3 ・香深井ワシ漂着 - 須田オオワシ拾う
24日・雨+2・久種湖カワアイサ・上泊カモメ、セグロカモメ
25日・雨・入舟ミソサザイ、モズ、カワラヒワ、ツグミ
26日・曇+6 久種湖ウグイス初、ツグミ数百、オオジシギ声、
ミヤマガラス12、ミコアイサ、ホオジロガモ、クサシギ
27日・寒い+1~+0 晩雨8m・久種湖チュウヒ
28日・雪+1~+7~+2
29日・快晴+1 久種湖周遊道ヤチハン、ミズバショウ、ザゼン
ソウ、キバナノアマナ、カエルの合唱・久種湖水芭蕉移植
30日・快晴+8 ・元地キバナノアマナ、エソエンゴサク、
ナニワズ、ワサビ、ヤチブキ、フキノトウ、
・召国ノビタキ、ヒレンジャク10、ハイタカ、クサシギ、
タヒバリ、ヒバリ、イソヒヨドリ - 鎌田